

オムニチャンネル時代がEコマースに与える影響

3月7日(火) 15:00-19:30

日本唯一のオムニチャンネル/EC研究機関である東海大学総合社会科学研究所が研究成果を発表し、また、産官学の有識者が各立場から見たオムニチャンネル/ECに対する見解を講演、ディスカッションを行います。ダイレクトビジネスの事業戦略を考えるエグゼクティブに向けて、他では得られない有益な情報を提供致します。

Session 1.



小嶋 秀信

学校法人 東海大学
総合社会科学研究所
客員准教授

リーディングカンパニーにおける オムニチャンネル対応の実態と業績に与える影響

流通小売業は劇的な変化を遂げ、顧客起点の流通へとパラダイムシフトし、オムニチャンネルという概念が時代の必然となった。

一方、オムニチャンネルは企業にとって投資コストがかかりROIが見えていない。オムニチャンネル対応が進んでいる企業と対応が遅れている企業ではどのような違いがあるか調査分析を行った。

オムニチャンネル対応の実態と業績に与える影響についての研究成果を発表する。

Session 2.



小野田 裕繁

株式会社オートバックスセブン
ネットビジネス推進部 部長

オートバックスにおけるオムニチャンネルへの 取り組み

カー用品販売大手企業であるオートバックスにおいても、新しい流通のトレンドであるオムニチャンネル対応が求められている。これまでどのようなオムニチャンネルに対する取り組みを行ってきたか、そして取り組みに対するお客様からの評価がどのようなものであったか、事例を交えてお伝えする。

Session 3.



岡北 有平

経済産業省 商務情報
政策局 情報経済課
課長補佐

オムニチャンネル時代を 迎えた日本のEコマースにおける現状

経済産業省では、我が国の電子商取引を推進するための基礎的調査として、日本におけるEコマースの黎明期である平成10年度から市場調査を開始した。18回目の実施となる2016年度の調査結果をもとに、オムニチャンネル時代を迎えた日本のEコマースにおける現状を解説する。

Time table

- 15:00-15:05 開会挨拶
- 15:05-15:50 Session 1. 東海大学総合社会科学研究所
- 16:00-16:50 Session 2. 株式会社オートバックスセブン
- 17:00-17:30 Session 3. 経済産業省
- 17:30-18:15 産官学パネルディスカッション
- 18:20-19:30 懇親会・名刺交換会（無料）

※株式会社ワークスアプリケーションズ提供

Information

名称 : 東海大学総合社会科学研究所
第1回研究報告会（Eコマース研究部会）・講演会

日程 : 2017年3月7日（火）15:00-19:30（開場14:30）

会場 : 赤坂溜池タワー13F オーディトリウム
〒107-0052 東京都港区赤坂2-17-7
（溜池山王駅徒歩5分・赤坂駅徒歩3分）

参加費 : 無料 ※会場の収容人数の関係で、聴講希望者多数の場合は抽選とさせていただきますので何卒ご了承ください。

主催 : 東海大学 総合社会科学研究所

協力 : 経済産業省
株式会社オートバックスセブン
株式会社ワークスアプリケーションズ

▼お申込はこちら▼

<http://www.u-tokai.ac.jp/research/news/detail/1.html>

